

平成30年度 第2回学校評議員会

日時：平成31年2月27日

10:30～12:00

会場：本校会議室

1 開 会

2 校長あいさつ

- ・入学選考も無事に終え、新たに入学する児童生徒が決まりました。中学部入学者については定員割れとなったが、定員を満たすために再募集はしない方向で進めている。
- ・冬休み明け、給食関連での不手際があり、保護者にお詫びをさせていただいた。今後、このようなことがないように複数でチェックする体制を整え、再発防止に努めていきたい。
- ・校長任期が3月までとなっている。3年間、評議員の皆様には大変お世話になった。日頃より学校のために親身になってご指導いただいたことに心より感謝いたします。

(参加者)

- ・評議員は5名全員参加。学校からは、校長・副校長・校内教頭（高等部主事）・小学部主事
中学部主事・研究主任

3 報告及び協議

(1) 各学部の様子について

(各学部主事) 小・中・高等部の学習・行事等の様子を写真で紹介。

B委員：高等部のどの作業製品の問い合わせがあったのか。

高等部主事：木工班の木製ベンチである。

A委員：以前カレー皿を購入したことがあるがそれはなくなったのか。

高等部主事：カレー皿の製作は難しいので現在はカップやおにぎり皿を作っている。生徒の実態に応じて作る製品を決めている。

D委員：中学部の授業を楽しく見せていただいた。子ども達の様子から相撲をテレビで見ていると感じた。これからラグビーワールドカップや東京オリンピックがあるので、様々なスポーツがあることを子ども達に伝えていってほしい。全てのスポーツをすることは難しいが、見て楽しむこともできると思う。今年の天皇即位に関連する10連休についても、子ども達に伝えることは大切と考える。

(2) 高等部進路状況について

(高等部主事) 別紙資料について説明。

(3) 平成31年度入学選考結果について

(小学部主事) 別紙資料について説明。

(4) 学校評価アンケート結果について

(副校長) 別紙資料について説明。

B委員：保護者から意見が出ることは、学校にとっても教職員にとっても良いことであるが、それを共通理解しているか。

校 長：職員会議でアンケート結果を示し、全職員で共有認識している。

A委員：駐車場は保護者や放課後等デイサービス事業所が使用していると思うが、危険なことがあったのか。

副校長：場所によって、前向き駐車と後ろ向き駐車が混在するケースがあり、車を出し入れする

際に変ったようだ。

校長：以前にも車の出入りには安全に気を付けるようにとの助言をいただいた。大分徹底されてきてはいるが、まだ不十分などころがあると感じているのでさらに検討したい。

A委員：安全な駐車場使用について、事業者へ何らかの手立てを講じているか。

副校長：保護者と事業所宛てに文書を配付し周知徹底を図っていききたい。

B委員：駐車場の安全管理面は、人員配置が必要と考えられるが、警備員はいるのか。

校長：警備員は配置されている。安全誘導の業務が警備員なのか用務員なのかは、検討していかなければならない。教員がやることは現実的に難しい。

C委員：保護者の他にも祖父母が送迎に来ることもある。駐車場使用や校内徐行について家庭での情報共有も必要なのではないか。事業所によっては、他校への迎えもあり時間を気にし、急いで発進することもあるようだ。安全等についてしっかり伝えてほしい。

校長：特に正門側は、多く駐車できるように駐車場区画が斜めに設定されている。安全のためにも至急改善を検討していききたい。

A委員：県立から異動し、附属という職場になじめず違和感のある方がいるのだろう。他の職場に移ってから附属の良さを感じることもある。アンケートの数字は魔物だと考えている。数値が上がり100%になることのほうがむしろ怖い。様々な考え方があることを大切にしてほしい。

C委員：災害時の非常食について、アレルギーをもっている子どもへの対応も大切と考える。

校長：学校全体で準備するものと、保護者の協力を得て子ども一人一人に応じたものを準備するものの両面で検討していく。

D委員：安全や防犯の学習に取り組んでいることを保護者に伝えることが大切と感じる。学校評価の保護者アンケートで「よくわからない」とあるのは取り組みを伝えてないとも受け止められるのではないか。

校長：学習の取り組み状況を保護者によく分かるよう伝えていききたい。

A委員：(自身の事業所で) 異性への対応で、iPad等ですぐ見たり調べたりすることができ、誤った学習をしてきている利用者もいる。私たちが気付かないうちに様々な情報に触れているので、正しい使い方を保護者と共有していく必要があると感じている。

C委員：保護者面談や懇談で、担任に言いたいことや聞きたいことが伝えられない保護者がいると聞いた。また、入学選考日の服装について、受検する保護者からどんな服装がよいか聞かれたこともあった。合否があることも気になったようだ。

校長：服装で合否判断することはない。

副校長：事前の説明会でも「動きやすい服装」ということは伝えている。

(5) 平成30年度いじめアンケート結果について

(高等部主事) 別紙資料について説明。

A委員：私どもの職場でも、少数ではあるがイライラしたときに相手をたたくという事案があり、個別面談や当事者同士の話し合い等の対応をしているが、どうしても力の強い者が弱い方へと向きがちである。座る場所を離す等、環境を整えることも大事だと考え、未然防止に努めている。

(6) 次年度年間行事予定について

(中学部主事) 別紙資料について説明。

(7) 研究活動について

(研究部長) 別紙資料について説明。

(8) その他

各評議員から

A委員：これまで継続して関わってきて、児童生徒が良い表情で生活しているのが印象に残った。その年ごとに子どもの違いはあるが、あにわ祭でも、一人一人の表現を尊重して発表しており、みんなで良さをたたえ合うことの大切さを改めて感じた。学校で培われたものを引き続き福祉の分野でも生かしていきたい。また研究の成果も参考にしていきたい。

B委員：子ども一人一人の成長に合わせて生き生きと楽しく活動する様子が見られた。準備がしっかりされていると感じた。これからも様々な場面で継続をしてほしい。
学校評価については、様々な意見があることは良いことである。結果が100%に近い数字でなくてもよいと思う。課題に対し、日々改善を積み重ね、新たなものを生み出してほしい。やりがいについては、職員が入れ替わったりしたことで、一人一人の目標の置き方や感じ方にも違いが出てきたのだろう。今後意見交換してほしい。

C委員：学校評価にもあるが、教員が話し合いを重ね協議したことが、授業等に生かされ子ども達が育っていているのだと感じた。自分の子どもも仕事を頑張っているが、スキルを育ててくれた学校に感謝している。先生方はどんどん保護者と相談し取り組みたいことを実践してよいと考える。それにより子どもが変わっていく姿にやりがいを見出すこともあるのではないかと思う。

D委員：全職員が子ども達と関わっている様子が見られたし、一人一人の子どもに目を配っていることが分かった。学校評価の保護者評価の数字が高いのがむしろ気になった。学校に無関心にならないよう、興味を示し意見を出して行ってほしい。

E委員：教室等での様子を見て子ども達が成長していることを感じた。タブレットを使った授業は驚いたが、子どもの状況によって活用の仕方も変わってくるのかと感じた。
子ども一人一人個性がある。こだわりについても譲れないこともあるかもしれないし、必然性のあることかもしれない。理由のあるこだわりであれば、大切にしなければと感じる。

4 退任予定の委員から

A委員：評議員を6年務めさせていただいた。学校の先生方や他の評議員の皆様から様々なことを楽しく勉強させていただいた。今後もできる限り協力していきたい。

C委員：任期中は、より詳しく学校ことを知る機会となり勉強させていただいた。子どものことを考えさせられる貴重な時間でもあった。

5 閉会